



中部電力

ツル植物の伸長抑制技術の開発

電力供給支障の原因となる ツル植物の成長を 抑制します

背景・目的

- ツル植物は、地上10m以上の高さまで伸び、電力の供給支障の原因となるため、効果的な対策が求められています。
そこで、植物成長抑制剤等により、ツル植物の伸長を抑制する技術を確認し、除草業務の省力化や電力設備の故障等のトラブル防止につなげます。

特長

- 電力設備に影響をおよぼすツル植物の種類を調査します。
- 各種ツル植物の成育特性を明らかにします。
- 各種ツル植物に最適な植物成長抑制剤の種類、散布条件を明らかにします。

用途

- 配電設備に登はんするツル植物の成長抑制
- 変電所構内のフェンスに登はんするツル植物の成長抑制

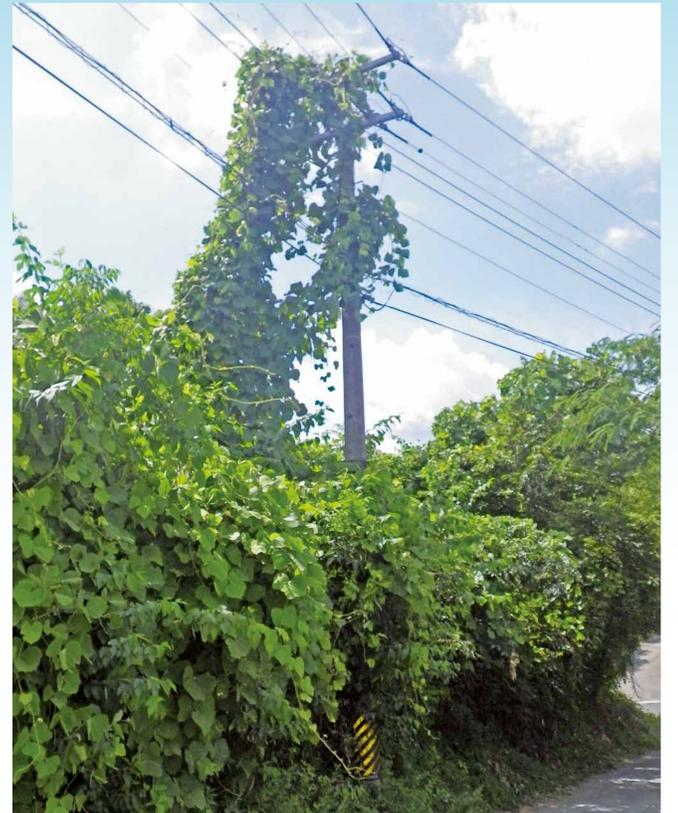


図1 電柱の支線に巻きついたツル植物（クズ）



図2 栽培試験の状況



図3 ツル植物の伸長量の測定状況



図4 ツル特別巡視の現場状況

開発者の
ひとこと

本研究成果を用いて、ツル植物に起因した電力設備の故障件数の低減につなげ、電力の安定供給に貢献していきます。